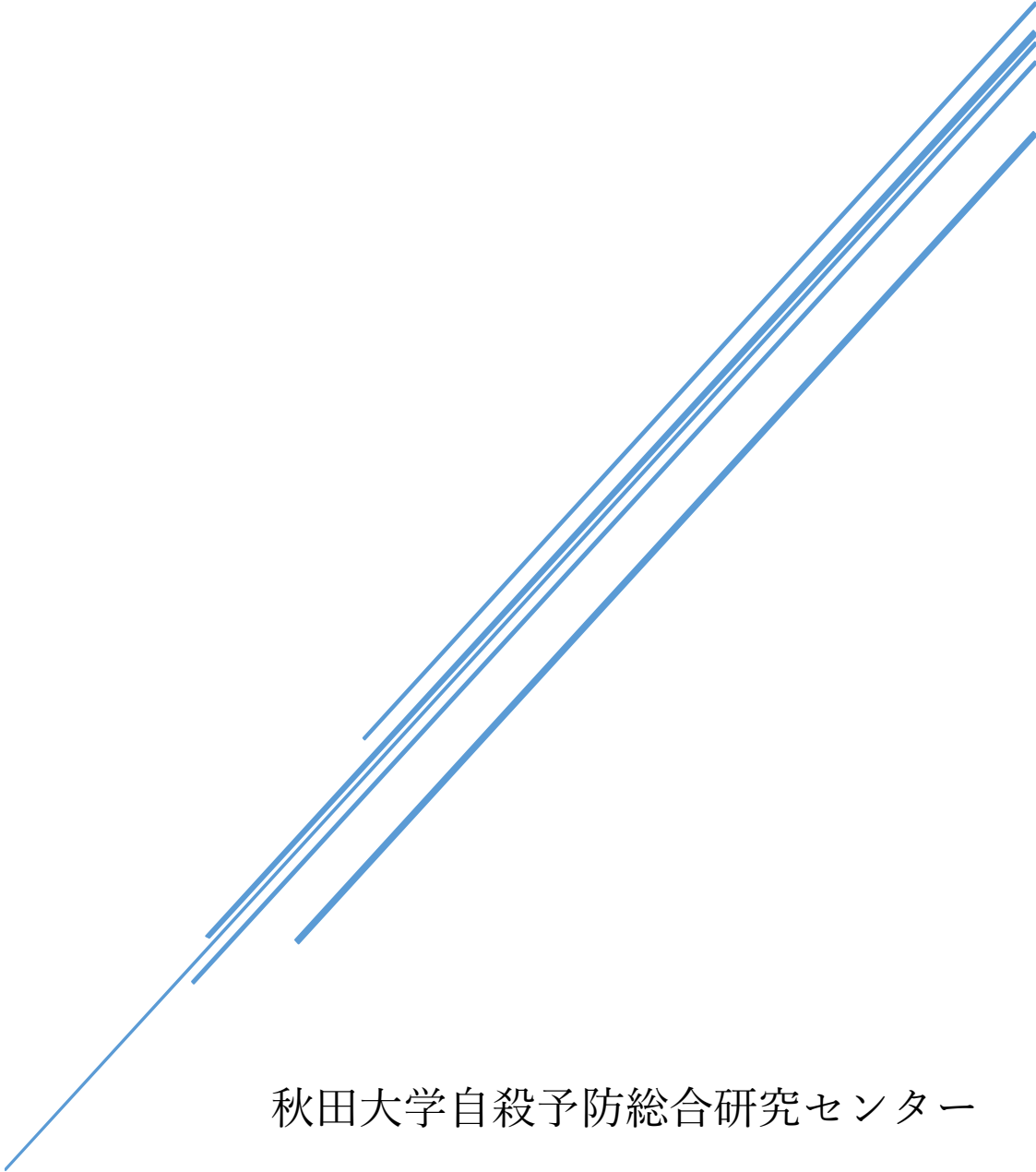


能代市健康づくりとこころの健康・ 自殺対策に関する市民意識調査報告書



秋田大学自殺予防総合研究センター

目次

1	調査の概要	1
2	調査結果	2
2.1	回答者の属性	2
2.2	身体健康に係わること	9
2.3	こころの健康に係わること	22
2.4	自殺対策について	24
2.5	自殺に関することについて	27

本報告書を読む際の注意

本報告書は、年代の構成比を考慮し、39 歳以下、40-59 歳、60 歳以上に 3 区分した。しかし、健康日本 21 の指標については、各指標について年齢区分が異なるため、参考として指標のみ明示する。

1 調査の概要

調査名

能代市健康づくりとこころの健康・自殺対策に関する市民意識調査

調査対象

能代市の住民基本台帳に令和6年4月1日時点で登録されている方のうち年齢19歳以上、85歳未満の市民

調査対象者数

5,000 人

実施期間

令和6年7月1日(月)～7月31日(水)

調査方法

郵送法による配布、回収

調査結果

- 回収 1,602 名(回収率 32.0%)
- 有効回答 1,574 名(有効回答率 31.5%)

共同分析

秋田大学自殺予防総合研究センター

調査の同意

調査用紙に回答をしていただく前に、同封した研究の趣旨や目的、注意事項を示した説明文を読んでもらい、アンケート調査へ同意する、もしくは同意しない、にチェックしてもらってから回答いただいた。なお、同意しないとチェックして返送した者は、集計より除外した。

2 調査結果

2.1 回答者の属性

① 回答者の基本属性

表 1 対象者の基本属性

		N=1,574	
		人数	構成比
性別	男性	641	41.7
	女性	895	58.2
	その他	2	0.1
年代	19 歳	4	0.3
	20～29 歳	52	3.4
	30～39 歳	92	6.0
	40～49 歳	178	11.6
	50～59 歳	251	16.3
	60～69 歳	370	24.1
	70～79 歳	457	29.7
	80～84 歳	133	8.7
地域	本庁	760	51.1
	榑	99	6.7
	向能代	203	13.6
	扇渚	66	4.4
	檜山	26	1.7
	鶴形	16	1.1
	浅内	45	3.0
	常磐	31	2.1
	二ツ井	210	14.1
	富根	32	2.2
婚姻状況	既婚	803	52.8
	未婚	355	23.4
	死別	192	12.6
	離別	146	9.6
	その他	24	1.6

※無回答を除いて集計したため、人数の合計値は異なります。また、構成比はここに四捨五入しているため、合計値が 100%と一致しないことがあります。

- ② 現在お仕事をされていますか？（学生でアルバイトをしている場合は仕事をしていないを選択してください）

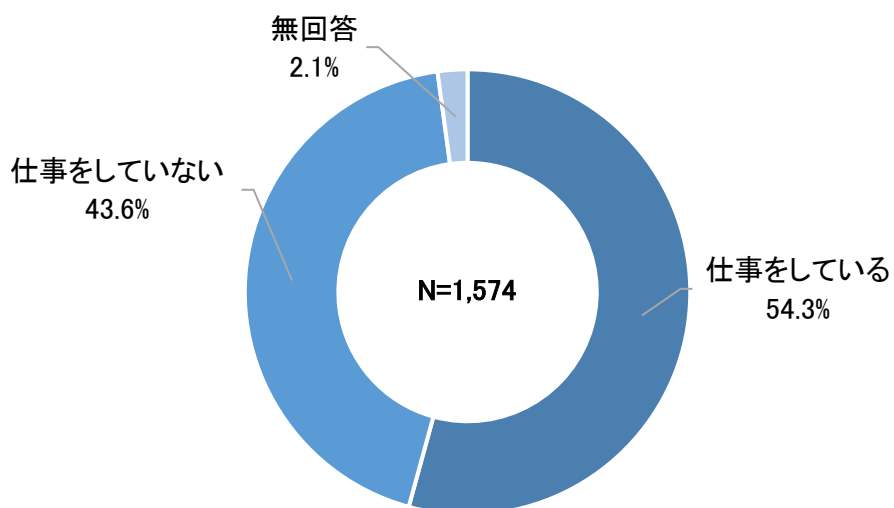
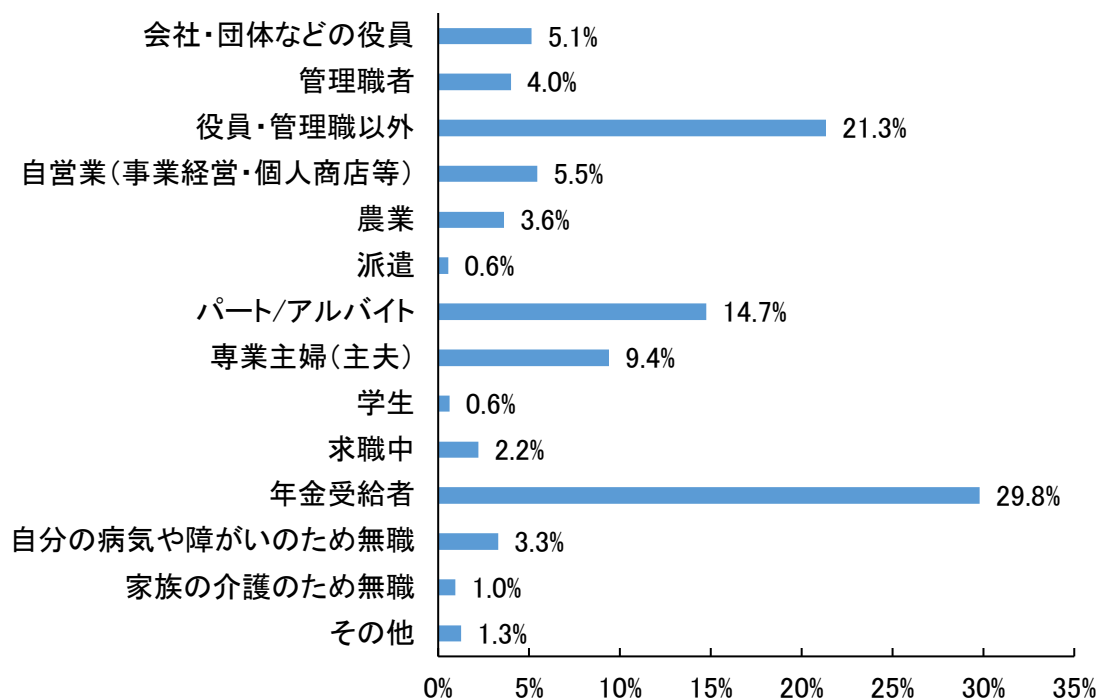


図 1 仕事の有無

③ 就労形態

N=1,574



※複数回答あり

図 2 就労形態の小区分

④ あなたの暮らし向き(経済状況)はいかがですか？

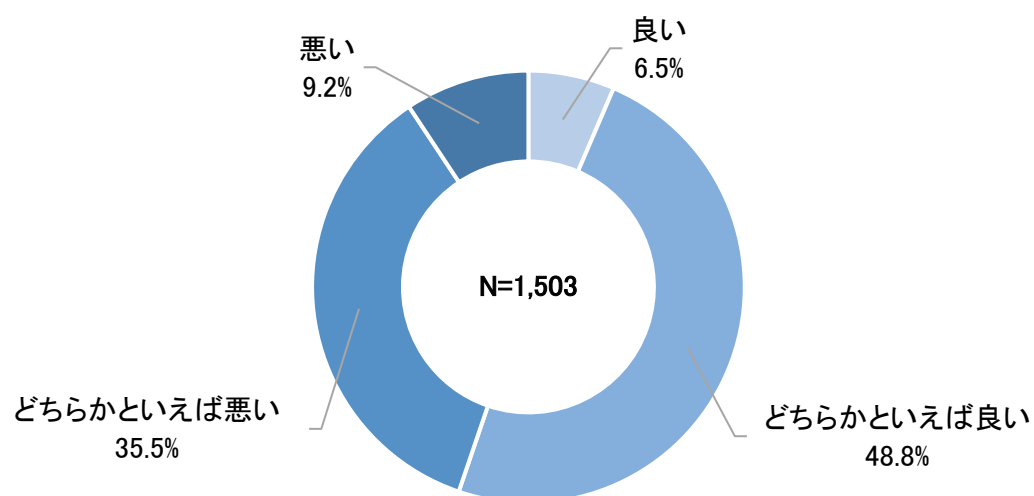
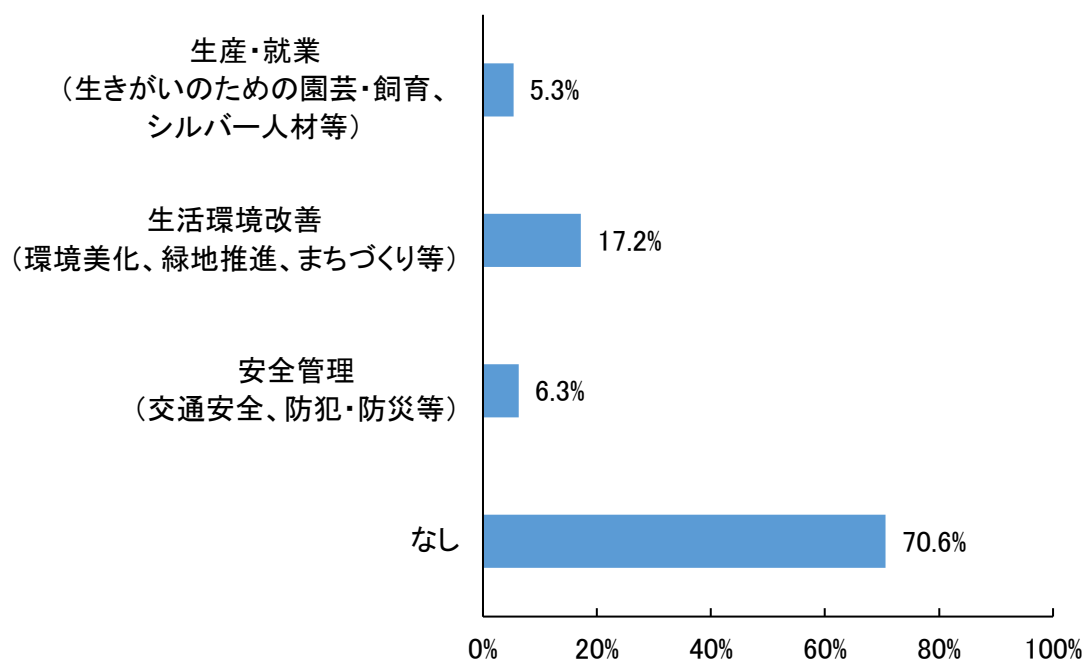


図 3 暮らし向き

個人の主観的な暮らし向きについては、悪い、どちらかといえば悪いと回答した人が 44.8%と約半数に近い数値を示し、約2人に1人が経済的な負担を感じていました。

- ⑤ あなたはこの１年間に、個人でまたは友人と、あるいはグループや団体で自主的に地域行事に参加したことがありますか？

N=1,574



※複数回答あり

図 4 地域行事の参加

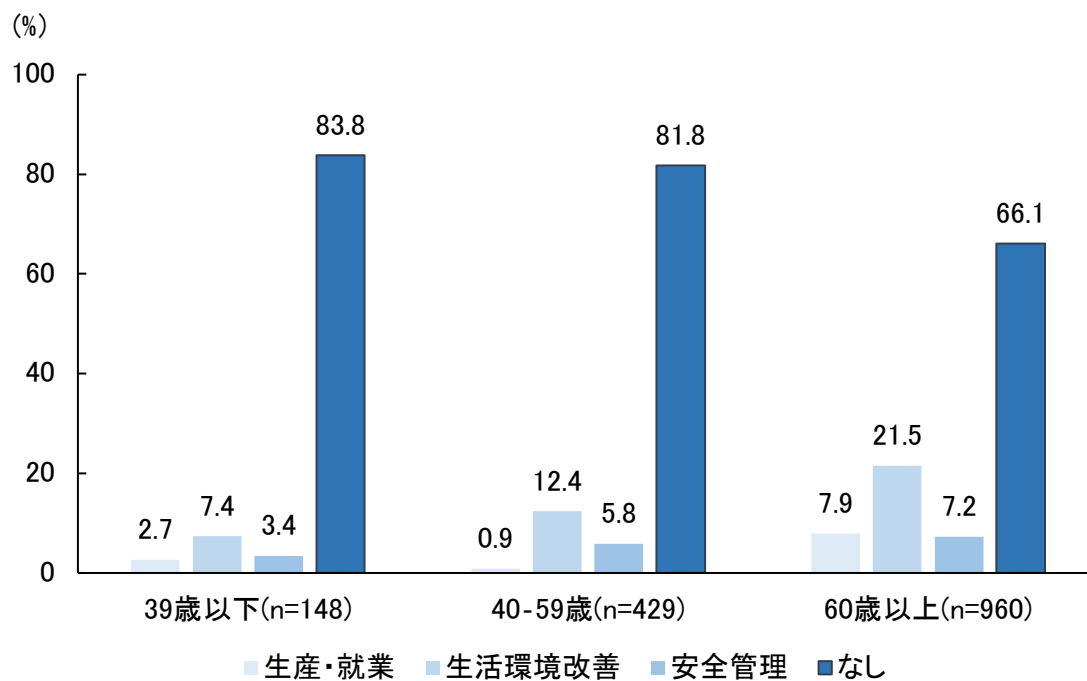
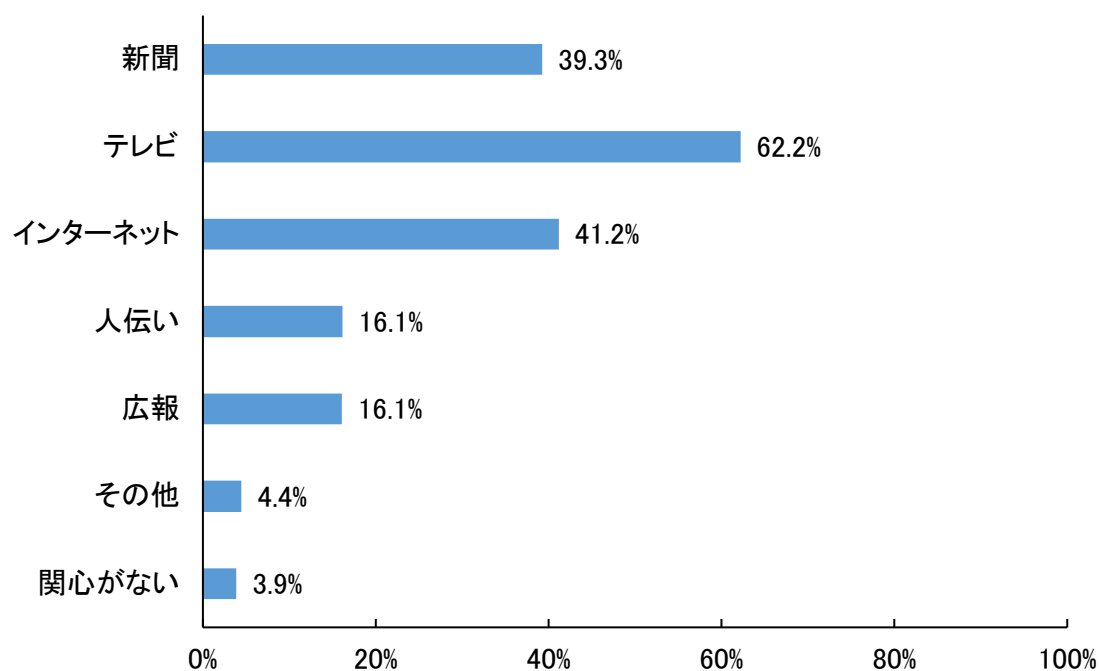


図 5 年代別に見た地域行事の参加

地域行事に参加していなかった人は約7割でした。参加した人のうち、生活環境改善に参加した人の割合が最も多い結果でした。年代別に見ると、59 歳以下の人が参加なしの割合が多く、60 歳以上の人は生活環境改善に参加した人の割合が最も多い結果でした。

⑥ 健康に関する情報をどのように得ていますか？

N=1,574



※複数回答あり

図 6 健康に関する情報の取得方法

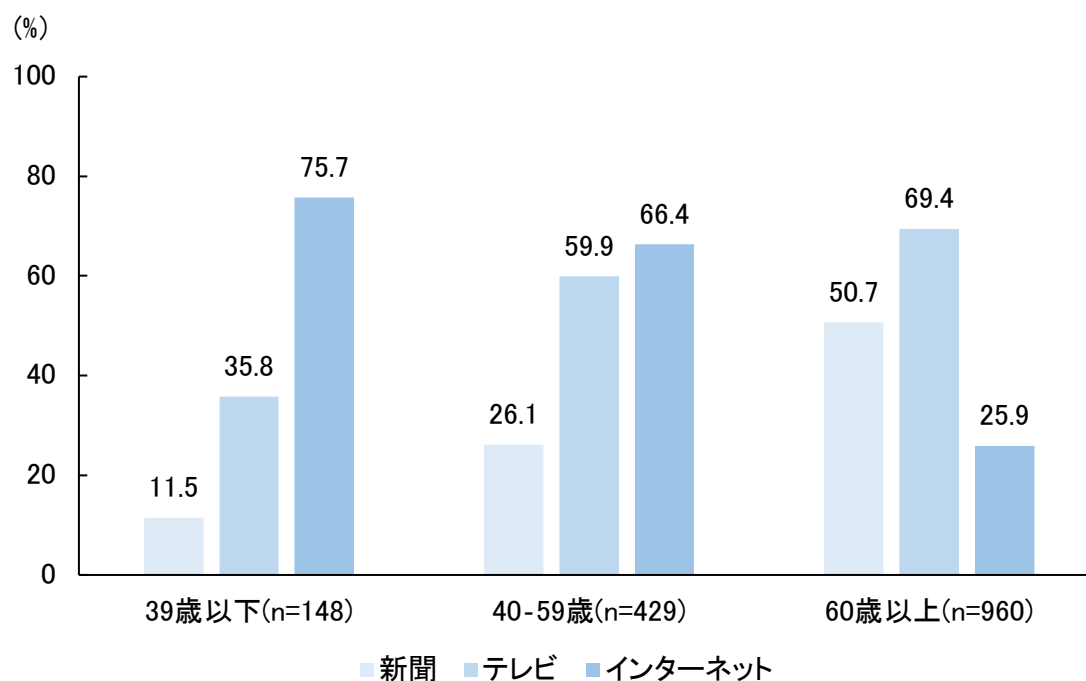


図 7 年代別に見た健康に関する情報の取得方法

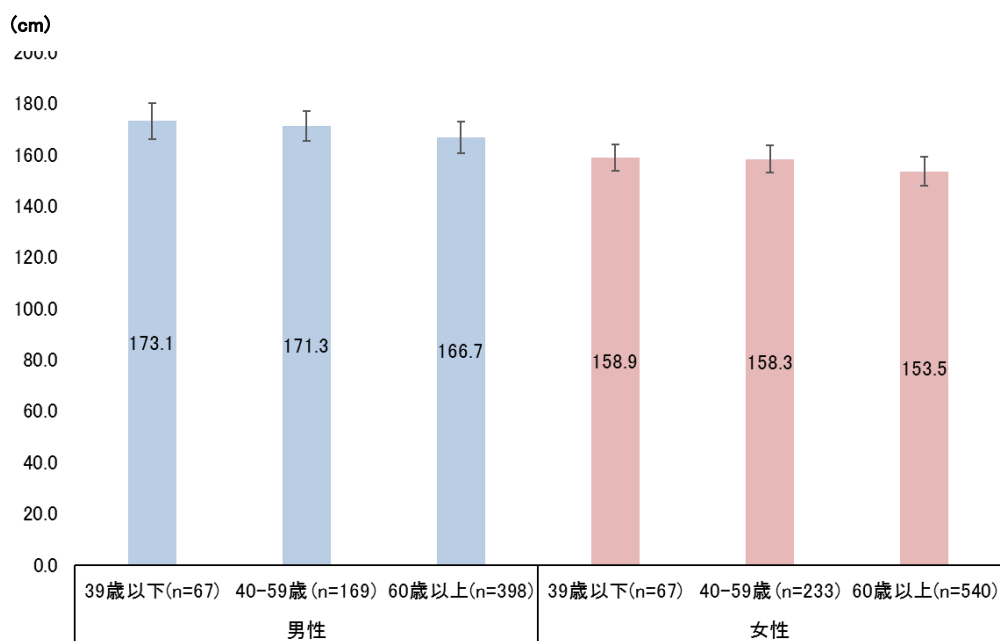
健康に関する情報は、テレビ、インターネット、新聞の順に多い結果でした。そのため、普及啓発はインターネットを利用して SNS に繋げることや新聞等で健康に関わる情報を流すことが有効かもしれません。

年代別に見ると、39 歳以下及び 40-59 歳はインターネットの割合が最も多い結果でした。一方、60 歳以上では他の年代と比べて、新聞やテレビから情報を得る人の割合が多い結果でした。そのため、39 歳以下と 60 歳以上で啓発の仕方を変える必要があります。59 歳以下はインターネットを用いた普及啓発を、60 歳以上(40-59 歳も含む)は新聞を用いた普及啓発をすることが有効かもしれません。

2.2 身体の健康に係わること

① 身体組成(身長・体重・BMI)

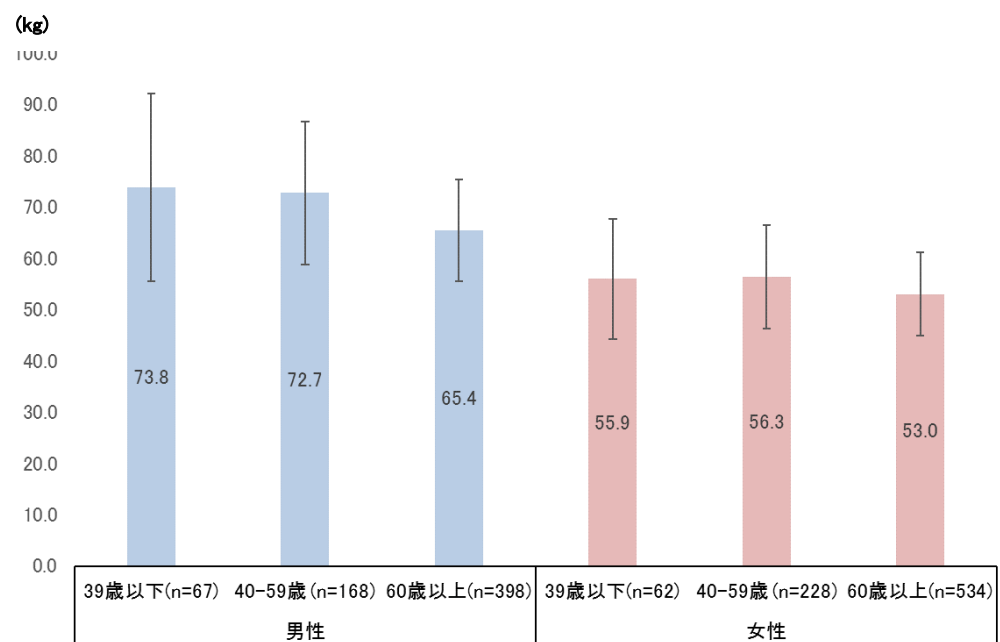
(ア) 身長



※平均値±標準偏差

図 8 年代別に見た身長の分布

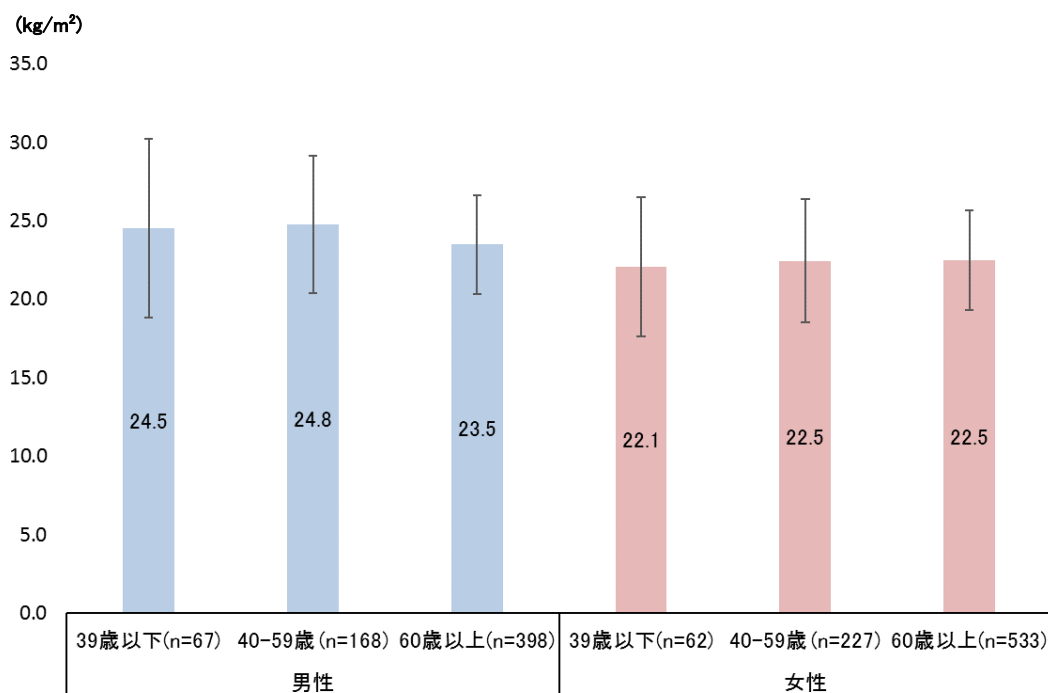
(イ) 体重



※平均値±標準偏差

図 9 年代別に見た体重の分布

(ウ) BMI



※平均値±標準偏差

図 10 年代別に見た BMI の分布

(エ) BMI の区分

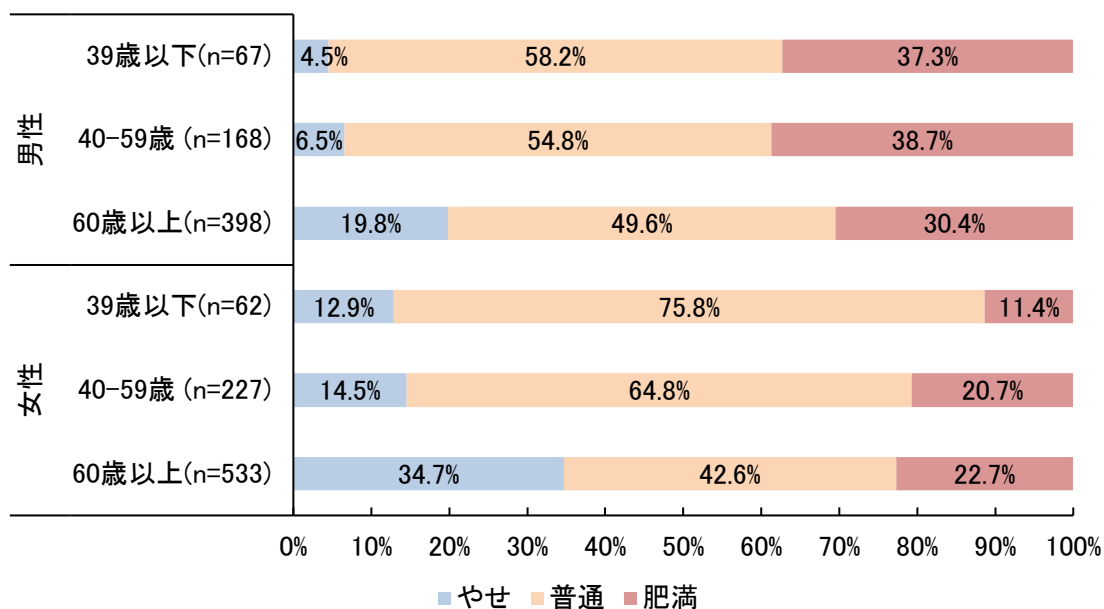


図 11 年代別に見た BMI の区分

「日本人の食事摂取基準(2020 年版)」では、区分に変更がありましたが、今回は 10 歳階級ごとに調査しているため、BMI による「やせ」、「普通」、「肥満」の区分は、「日本人の食事摂取基準(2015 年版)」を基に作成しました。

日本人の食事摂取基準(2015 年版)

年齢(歳)	やせ	普通	肥満
18～49	18.4 以下	18.5～24.9	25.0 以上
50～69	19.9 以下	20.0～24.9	25.0 以上
70 以上	21.4 以下	21.5～24.9	25.0 以上

↓

日本人の食事摂取基準(2020 年版)

年齢(歳)	やせ	普通	肥満
18～49	18.4 以下	18.5～24.9	25.0 以上
50～64	19.9 以下	20.0～24.9	25.0 以上
64～74	21.4 以下	21.5～24.9	25.0 以上
75 以上	21.4 以下	21.5～24.9	25.0 以上

健康日本 21 計画(第二次)では、40-59 歳の男女のみ結果公表されていました。男性は、令和元年(2019 年)に 34.7%、女性は 22.7%の方が肥満と判断される数値でした。本調査の結果では、男性 38.7%、女性 20.7%であり、男共に日本人の一般集団と同様の結果であり、**中高年の肥満に焦点を当てた対策が必要です。**

② 運動習慣(運動の禁止、運動日数、運動時間、継続年数)

(ア) あなたは医師等から運動を禁止されていますか？

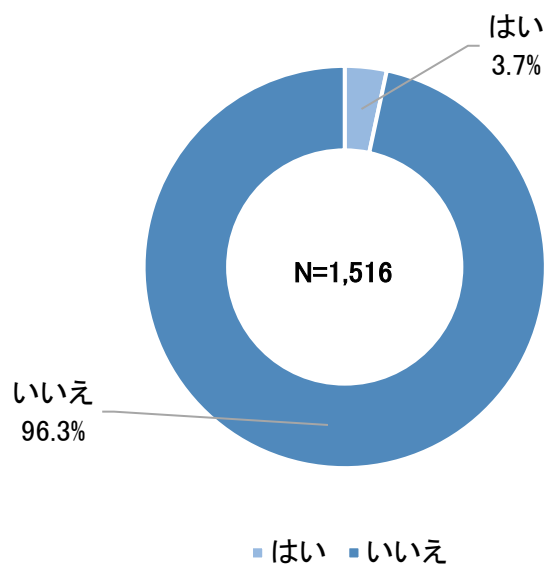


図 12 運動習慣の制限

表 2 年代別に見た運動習慣の制限

性別	年齢	運動の禁止あり	運動の禁止なし
男性	39 歳以下	0 (0.0)	68 (100.0)
	40－59 歳	3 (1.8)	166 (98.2)
	60 歳以上	21 (5.4)	370 (94.6)
女性	39 歳以下	3 (3.8)	76 (96.2)
	40－59 歳	6 (2.4)	247 (97.6)
	60 歳以上	18 (3.3)	529 (96.7)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

1,460 人は医師からの運動を禁止されていませんでした。

(イ) 1 週間の運動日数

表 3 年代別に見た運動習慣の日数

性別	年齢	運動日数(日/週)
男性	39 歳以下(n=67)	2.4±2.4
	40-59 歳 (n=154)	2.0±2.3
	60 歳以上(n=338)	2.9±2.4
	全体(n=559)	2.6±2.4
女性	39 歳以下(n=70)	1.5±2.1
	40-59 歳 (n=223)	1.8±2.2
	60 歳以上(n=460)	3.0±2.3
	全体(n=753)	2.5±2.4

※平均値±標準偏差

(ウ) 運動を行う日の平均運動時間

表 4 年代別に見た運動習慣の時間

性別	年齢	平均運動時間(分/日)
男性	39 歳以下(n=61)	50.7±83.3
	40-59 歳 (n=141)	33.1±46.7
	60 歳以上(n=325)	54.1±64.2
	全体(n=527)	48.1±63.2
女性	39 歳以下(n=59)	30.9±65.3
	40-59 歳 (n=199)	25.1±34.5
	60 歳以上(n=440)	49.0±55.7
	全体(n=698)	40.7±52.6

※平均値±標準偏差

(エ) 運動の継続年数

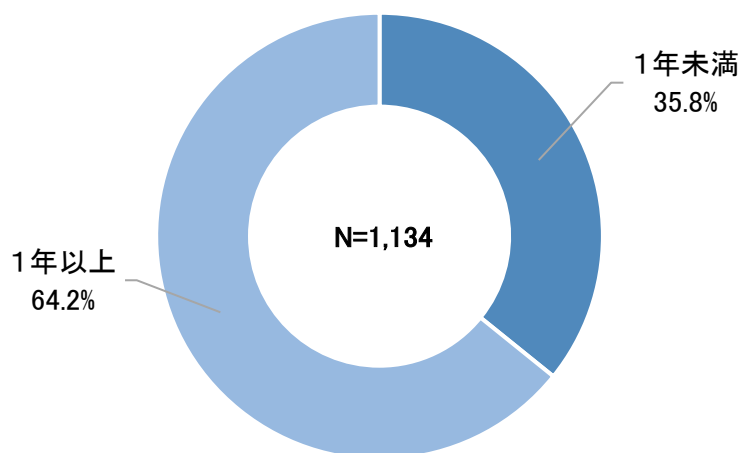


図 13 運動習慣の継続

表 5 年代別に見た運動習慣の継続

		1 年未満	1 年以上
男性	39 歳以下(n=56)	21 (37.5)	35 (62.5)
	40—59 歳(n=129)	64 (49.6)	65 (50.4)
	60 歳以上(n=302)	84 (27.8)	218 (72.2)
女性	39 歳以下(n=56)	31 (55.4)	25 (44.6)
	40—59 歳(n=188)	108 (57.4)	80 (42.6)
	60 歳以上(n=396)	94 (23.7)	302 (76.3)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

運動習慣を 1 年以上継続できている人は、64.2%であり、男女ともに 60 歳以上に多いという結果でした。

③ 睡眠状況(睡眠の質、睡眠時間)

(ア) ここ1ヶ月間、あなたは睡眠で休養が十分取れていますか？

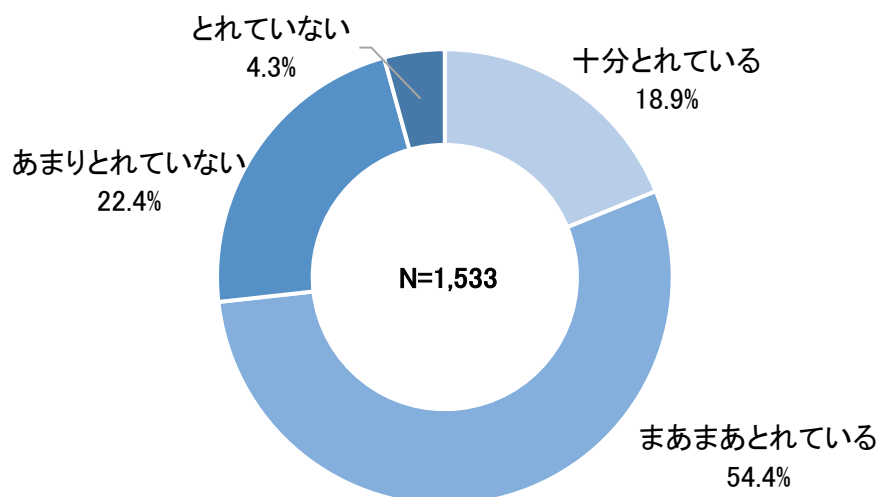


図 14 主観的な睡眠の休養

表 6 年代別に見た主観的な睡眠の休養

性別	年齢	十分とれている	まあまあとれている	あまりとれていない	とれていない
男性	39 歳以下(n=67)	14 (20.9)	28 (41.8)	20 (29.9)	5 (7.4)
	40－59 歳(n=168)	26 (15.5)	91 (54.2)	37 (22.0)	14 (8.3)
	60 歳以上(n=384)	67 (17.4)	220 (57.3)	82 (21.4)	15 (3.9)
女性	39 歳以下(n=77)	8 (10.4)	46 (59.7)	20 (26.0)	3 (3.9)
	40－59 歳(n=253)	32 (12.6)	131 (51.8)	68 (26.9)	22 (8.7)
	60 歳以上(n=546)	128 (23.4)	307 (56.2)	104 (19.0)	7 (1.4)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

(イ) ここ 1 ヶ月間、あなたの睡眠時間はどれくらいですか(平均的な時間を教えてください)？

表 7 主観的な睡眠時間

性別	年齢	睡眠時間(時間)
男性	39 歳以下(n=66)	6.4±1.3
	40-59 歳 (n=168)	6.3±1.3
	60 歳以上(n=383)	6.6±1.4
	全体(n=617)	6.5±1.4
女性	39 歳以下(n=76)	6.2±1.4
	40-59 歳 (n=252)	5.9±1.2
	60 歳以上(n=539)	6.5±1.5
	全体(n=867)	6.3±1.4

※平均値±標準偏差

睡眠の質は、「取れていない」と回答した人がどの年代も 10%未満であり、国民生活基礎調査(令和元年)21.7%よりも少ない結果でした。睡眠時間はどの年代についても 6 時間以上の睡眠を確保できています。

④ 食習慣(食生活の問題、改善希望)

(ア) あなたは自分の食生活に問題があると思いますか？

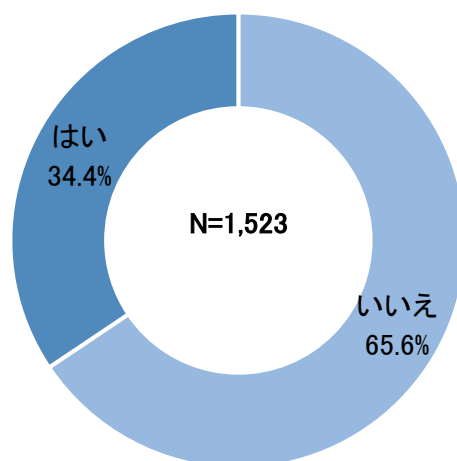


図 15 食生活の問題

表 8 年代別に見た食生活の問題

性別	年齢	はい	いいえ
男性	39 歳以下(n=67)	32 (47.8)	35 (52.2)
	40－59 歳(n=168)	72 (42.9)	96 (57.1)
	60 歳以上(n=381)	112 (29.4)	269 (70.6)
女性	39 歳以下(n=77)	37 (48.1)	40 (51.9)
	40－59 歳(n=254)	119 (46.9)	135 (53.1)
	60 歳以上(n=537)	140 (26.1)	397 (73.9)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

(イ) あなたは自分の食生活を改善したいと思いますか？

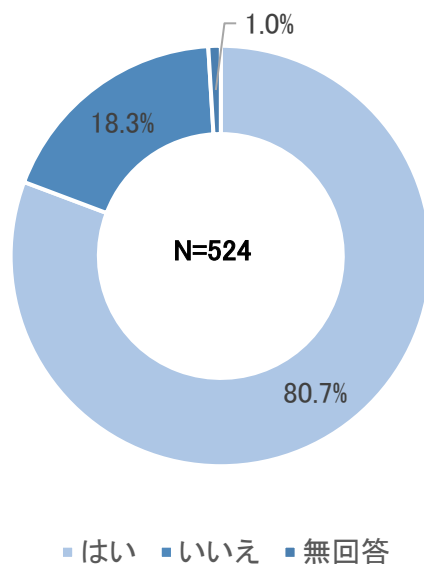


図 16 食生活の改善

表 9 年代別に見た食生活の改善

性別	年齢	はい	いいえ
男性	39 歳以下(n=31)	24 (77.4)	7 (22.6)
	40－59 歳(n=72)	60 (83.3)	12 (16.7)
	60 歳以上(n=111)	87 (78.4)	24 (21.6)
女性	39 歳以下(n=37)	33 (89.2)	4 (10.8)
	40－59 歳(n=117)	102 (87.2)	15 (12.8)
	60 歳以上(n=139)	108 (77.7)	31 (22.3)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

現在、食生活に問題を抱えている人は、全体で 34.4%でした。特に、59 歳以下の方で「はい」と回答した割合が多い結果でした。食生活の改善を希望されている方は、いずれの年代も高い割合を示しました。

⑤ 喫煙状況(喫煙の有無、受動喫煙の有無、受動喫煙の場所)

(ア) 現在、たばこ(加熱式・電子たばこを含む)を習慣的に吸っていますか？

N=1,518

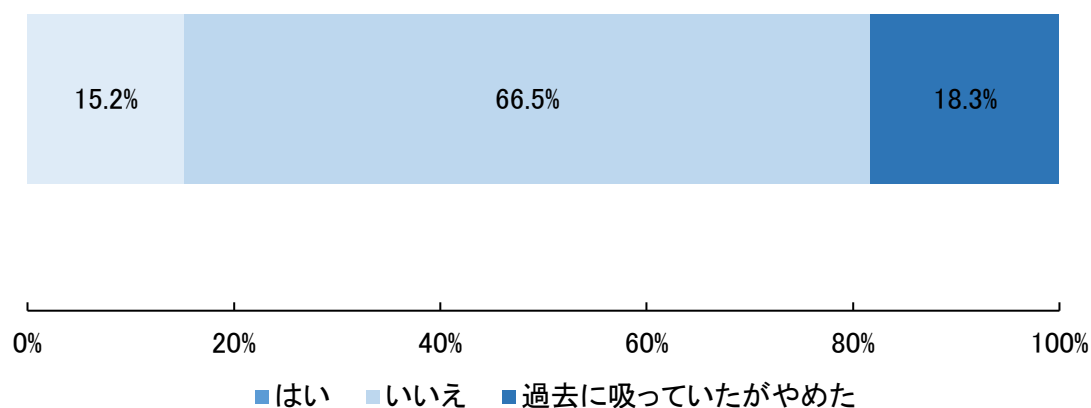


図 17 喫煙状況

表 10 年代別に見た喫煙状況

性別	年齢	はい	いいえ	過去に吸っていたがやめた
男性	39 歳以下(n=67)	17 (25.4)	42 (62.7)	8 (11.9)
	40—59 歳(n=167)	59 (35.3)	59 (35.3)	49 (29.4)
	60 歳以上(n=380)	81 (21.3)	167 (43.9)	132 (34.8)
女性	39 歳以下(n=76)	11(14.5)	61 (80.3)	4 (5.2)
	40—59 歳(n=254)	31 (12.2)	181(71.3)	42 (16.5)
	60 歳以上(n=535)	23 (4.3)	477 (89.2)	35 (6.5)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

現在、喫煙者の人は 15.2%であり、国民生活基礎調査の評価値である 16%より低い結果でした。年代別に見ると 40-59 歳の男性に喫煙者が多いため、健康教育等の取り組みが必要です。

(イ) この 1 ヶ月間に自分以外の人が吸っているたばこの煙を吸う機会がありましたか？

N=1,504

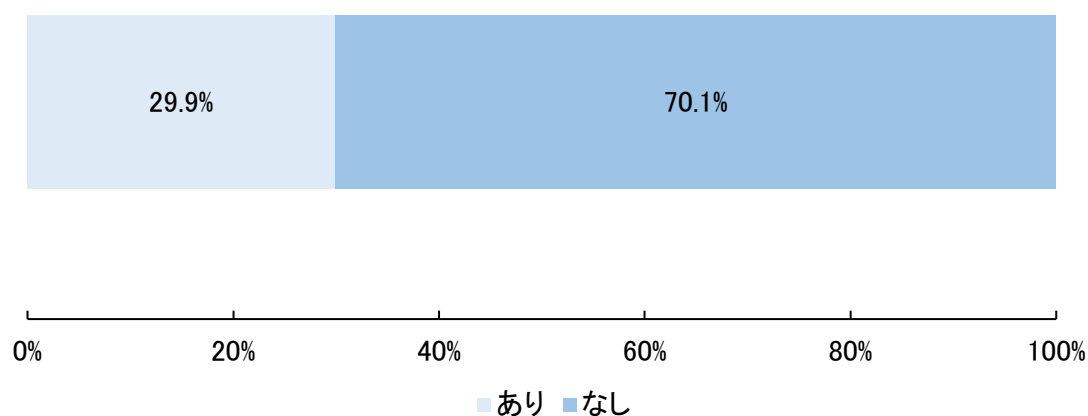


図 18 受動喫煙

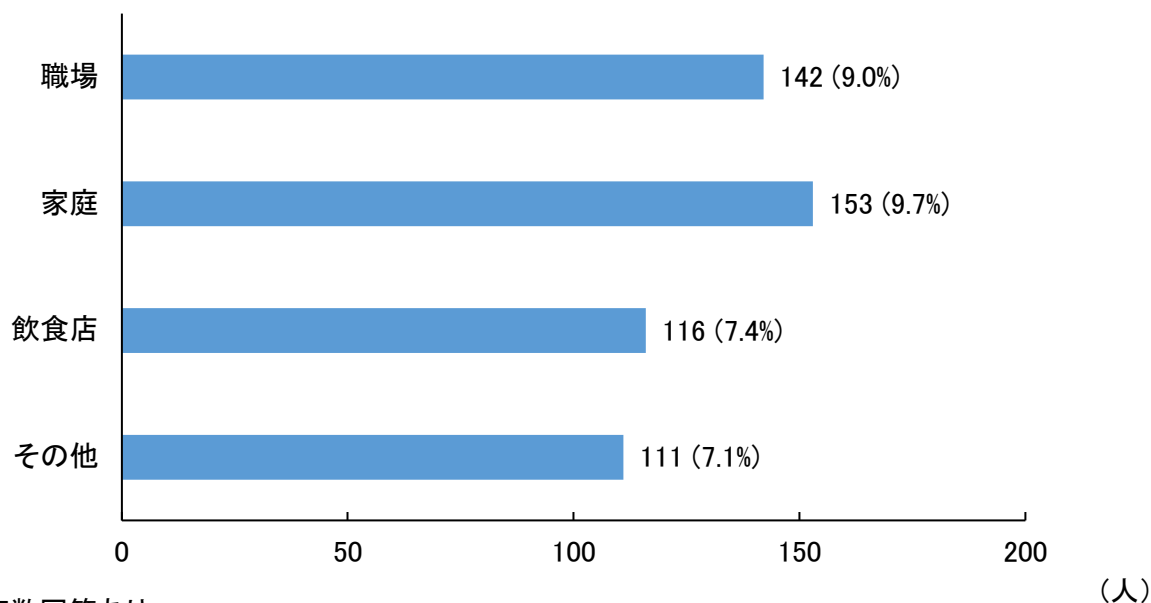
表 11 年代別に見た受動喫煙

性別	年齢	あり	なし
男性	39 歳以下(n=66)	35 (53.0)	31 (47.0)
	40－59 歳(n=166)	80 (48.2)	86 (51.8)
	60 歳以上(n=378)	107 (28.3)	271 (71.7)
女性	39 歳以下(n=76)	34 (44.7)	42 (55.3)
	40－59 歳(n=250)	94 (37.6)	156 (62.4)
	60 歳以上(n=529)	87 (16.4)	442 (83.6)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

(ウ) どのような場所でしたか？

N=1,574



※複数回答あり

図 19 受動喫煙の場所

表 12 年代別に見た受動喫煙の場所

性別	年齢	職場	家庭	飲食店	その他
男性	39 歳以下 (n=42)	22	6	11	3
	40－59 歳 (n=89)	42	14	15	18
	60 歳以上 (n=127)	32	17	43	34
女性	39 歳以下 (n=44)	8	21	12	3
	40－59 歳 (n=109)	25	42	19	23
	60 歳以上 (n=95)	12	49	11	23

※複数回答ため、人数のみ掲載。

健康日本 21 では、場所別に受動喫煙の目標が設定されています。令和元年の調査によると家庭の評価値は 6.9%であり、本調査では 9.7%であったため、家庭での受動喫煙防止に努めることも重要です。また、飲食店の評価値は 29.6%であり、本調査では 7.4%であったため、飲食店での受動喫煙は低い値でした。

2.3 こころの健康に係わること

① メンタルヘルス不調(K6スコア)

N=1,487

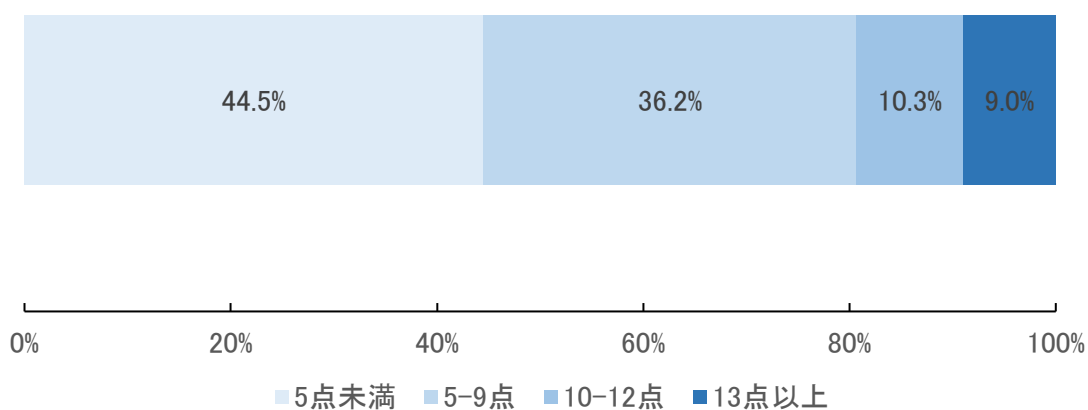


図 20 メンタルヘルス不調

N=1,487

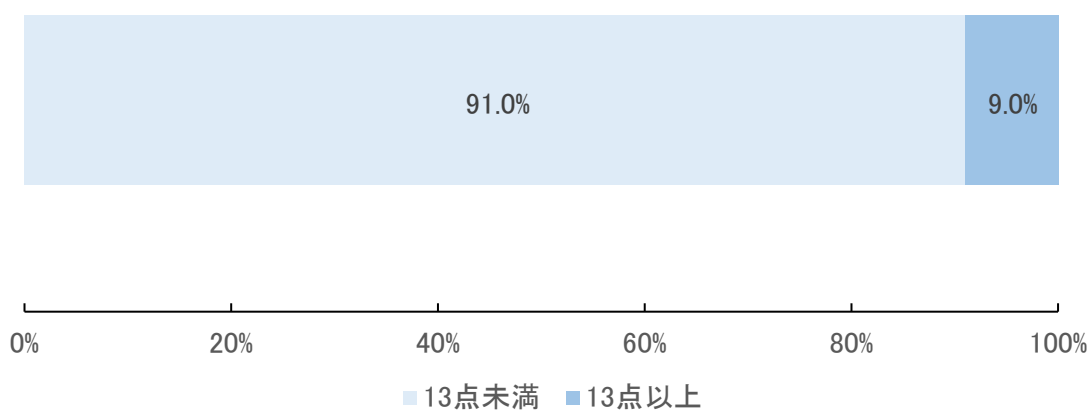


図 21 専門機関への受診が必要な可能性があるメンタルヘルス不調の有無

表 13 年代別に見た専門機関への受診が必要な可能性があるメンタルヘルス不調の有無

年齢	13 点未満	13 点以上
39 歳以下(n=145)	116 (80.0)	29 (20.0)
40－59 歳(n=418)	361 (86.4)	57 (13.6)
60 歳以上(n=888)	843 (94.9)	45 (5.1)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

こころの健康に関わる設問は、あえて回答しない「未回答」という解釈をしました。メンタルヘルス不調に関わる設問に未回答の人は 87 名でした。

9 点をカットオフとしたメンタルヘルス不調の有症率は 19.3%であり、令和 4 年度の国民生活基礎調査の 7.2%より有症率が高い結果になりました。専門機関への受診が必要である 13 点以上の人は 9.0%であり、年代別に見ると 59 歳以下の人の有症率が高い傾向にありました。そのため、59 歳以下の働き盛り世代に対するメンタルヘルス対策が必要です。

2.4 自殺対策について

- ① あなたは市内で自殺対策事業に取り組んでいることを知っていますか？（名前を聞いたことがあるも含む）

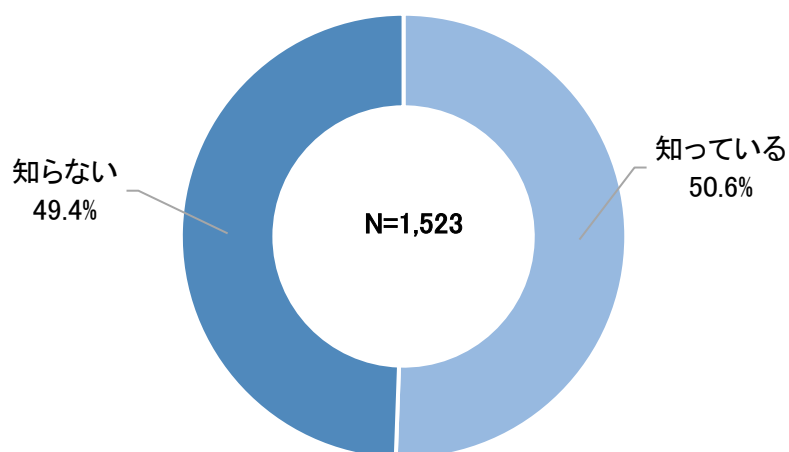


図 22 自殺対策事業の認知

表 14 年代別に見た自殺対策事業の認知

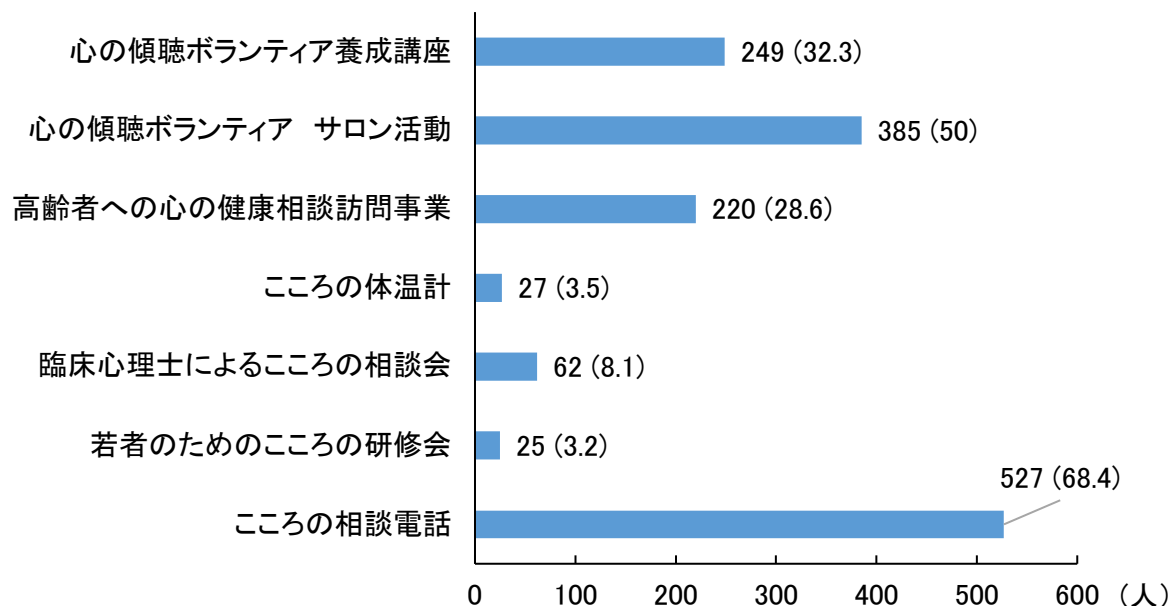
性別	年齢	知っている	知らない
男性	39 歳以下(n=67)	16 (23.9)	51 (76.1)
	40－59 歳(n=166)	56 (33.7)	110(66.3)
	60 歳以上(n=383)	172 (44.9)	211(55.1)
女性	39 歳以下(n=77)	22 (28.6)	55 (71.4)
	40－59 歳(n=256)	138 (53.9)	118 (46.1)
	60 歳以上(n=535)	348 (65.0)	187 (35.0)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

自殺対策事業についての認知度は 50.6%であり、回答者の約半数は知っていると回答しました。男性、女性ともに年代が若い人ほど知らないと回答した人の割合が多くなる傾向が確認されました。そのため、59 歳以下の働き盛り世代への普及啓発を行う必要があります。

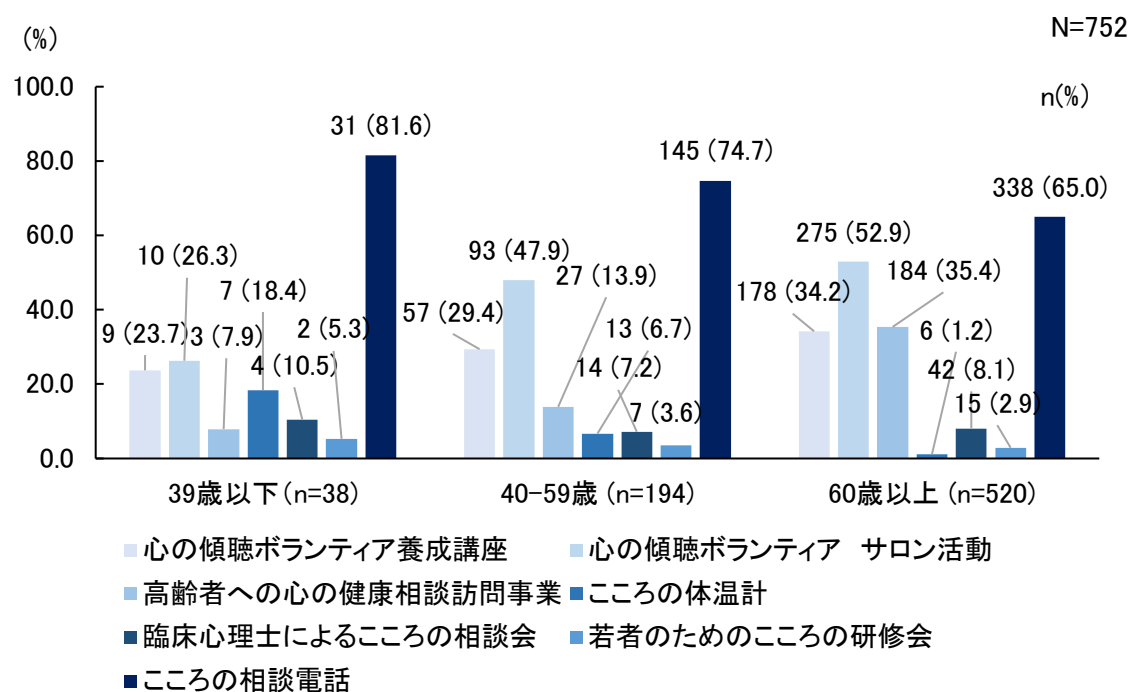
② 知っている事業について

N=770



※複数回答あり

図 23 自殺対策事業の認知



※複数回答あり

図 24 年代別に見た自殺対策事業の認知

自殺対策事業では、こころの相談電話の認知度が一番高く、「心の傾聴ボランティアサロン活動」の普及率も高い結果でした。一方、若者のためのこころの研修会やこころの体温計の認知度が低いため、普及啓発を行うことが重要です。

年代別では、全ての年代でこころの電話相談の認知度が高く、40 歳以上では「心の傾聴ボランティアサロン活動」の認知度が高かったため、これらのサービスが利用されやすい可能性があります。若者のためのこころの研修会については全ての年代で 6%未満であり、普及啓発が浸透しているとは言い難い結果でした。

2.5 自殺に関することについて

① 自殺念慮（自殺することを人生、1年、1ヶ月の期間での考え）

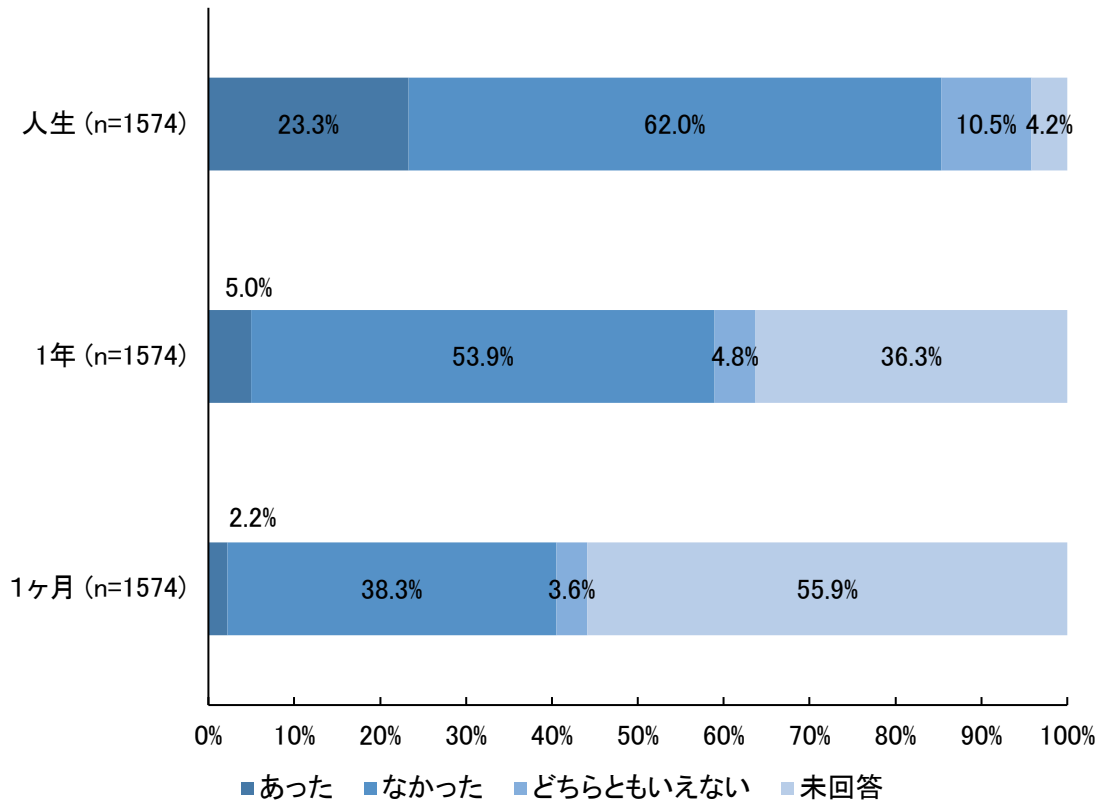


図 25 自殺念慮

表 15 あなたは、今までの人生の中で、「自殺すること」を考えたことがありましたか？

年齢	人生			
	あった	なかった	どちらともいえない	未回答
39 歳以下 (n=148)	53 (35.8)	72 (48.6)	20 (13.5)	3 (2.1)
40－59 歳 (n=429)	129 (30.1)	226 (52.7)	64 (14.9)	10 (2.3)
60 歳以上 (n=960)	176 (18.3)	653 (68.0)	80 (8.3)	51 (5.4)

表 16 あなたは、この 1 年間に「自殺すること」を考えたことがありましたか？

年齢	1 年			
	あった	なかった	どちらともいえない	未回答
39 歳以下 (n=148)	16 (10.8)	56 (37.8)	13 (8.8)	63 (42.6)
40－59 歳 (n=429)	29 (6.8)	206 (48.0)	22 (5.1)	172 (40.1)
60 歳以上 (n=960)	34 (3.5)	568 (59.2)	38 (4.0)	320 (33.3)

表 17 あなたは、この 1 ヶ月間に「自殺すること」を考えたことがありましたか？

年齢	1 か月			
	あった	なかった	どちらともいえない	未回答
39 歳以下 (n=148)	6 (4.1)	45 (30.4)	11 (7.4)	86 (58.1)
40－59 歳 (n=429)	13 (3.0)	115 (26.8)	17 (4.0)	284 (66.2)
60 歳以上 (n=960)	16 (1.7)	427 (44.5)	27 (2.8)	490 (51.0)

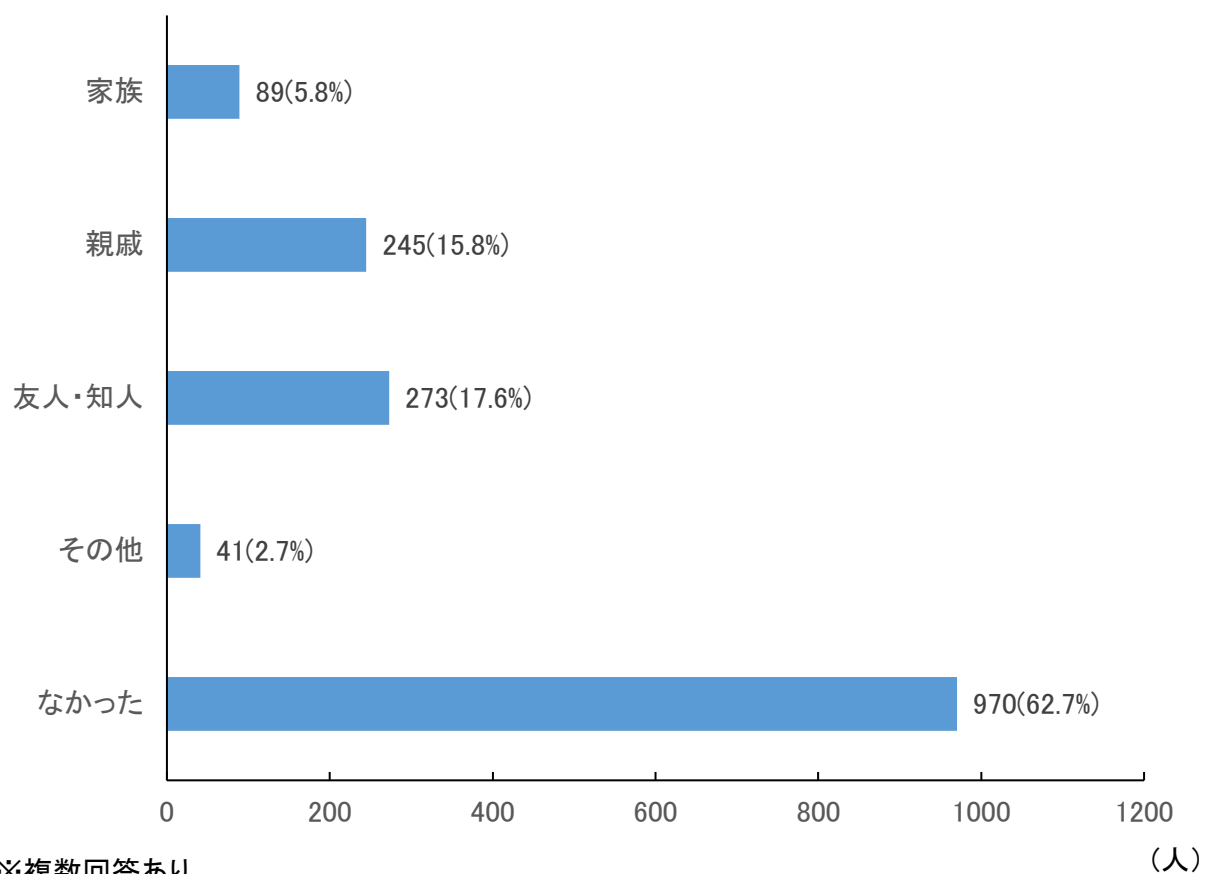
※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。

自殺に関わる設問は、『あなたは今までの人生の中で、「自殺すること」を考えたことがありますか』の設問で「あった」と回答した人のみ、1 年間の自殺念慮の設問を回答していただきました。1 ヶ月間の自殺念慮の設問についても 1 年間の自殺念慮「あった」に回答した人のみ回答していただきました。また、この自殺に関わる設問は、あえて回答しない「未回答」という解釈を設けましたが、1 年間および 1 ヶ月間の自殺念慮は、全体数での割合を計算するため、回答できなかった人も未回答で計算しております。

自殺念慮の設問に未回答の人は 66 名でした。直近の 1 ヶ月間で自殺念慮を抱いていた人は約 2.2%であり、秋田県の約 4%より低い結果でした。年代別では、年代が低いほど自殺念慮を抱きやすい傾向があり、他の調査と同様の傾向がありました。自殺念慮を抱いている人に対して早期に気づき、適切に対応できるインフラを整備できるような仕組みを作る必要があります。

② あなたの身近な人に自殺で亡くなった人はいましたか？

N=1,547



※複数回答あり

図 26 身近な人を自殺でなくした経験

③ 身近な人の自殺との関係や期間及び親密度

(ア) 自殺で亡くなった人はどれくらい前になくなりましたか？

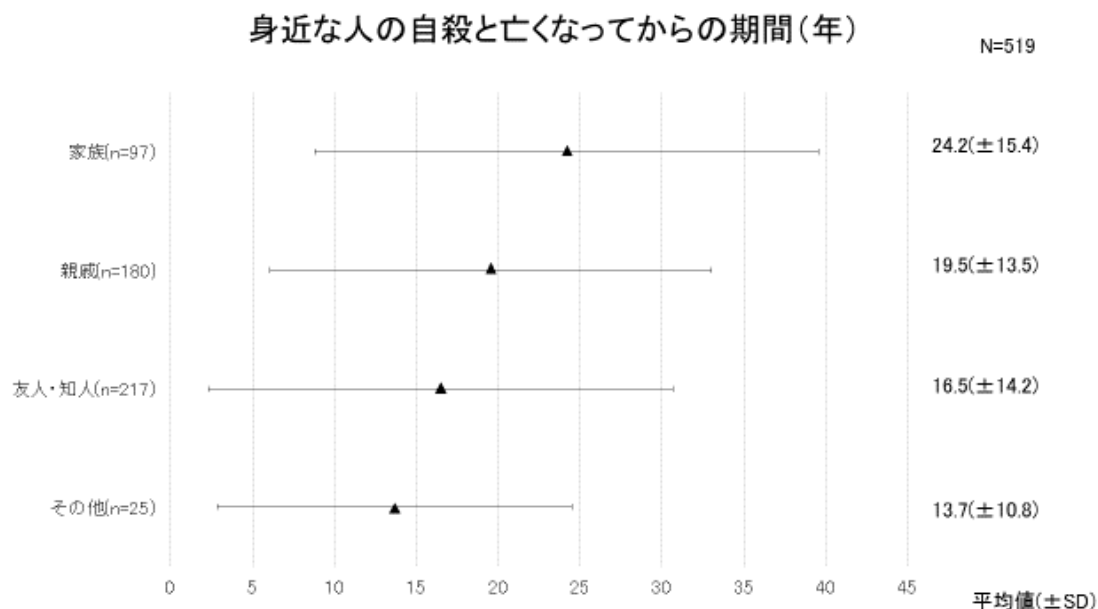


図 27 身近な人の自殺と亡くなってからの期間(年)

(イ) その人との関係の深さはどれくらいですか？「とても浅い(0 点)」から「とても深い(10 点)」の間で表すと、何点だと思いますか？

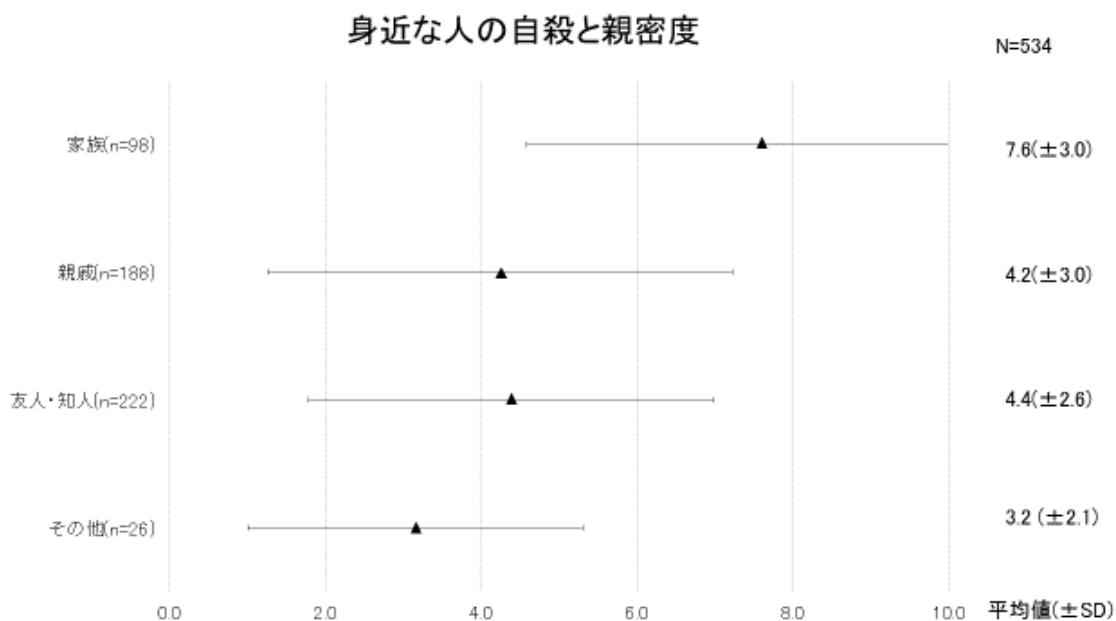


図 28 身近な人の自殺と親密度

身近な人を一人でも自殺で亡くした経験をした人は577名(37.3%)であり、秋田県で実施された調査の50.0%よりは少ない結果でした。その他を選択した人のうち、自由記載に明記されていたのは、同僚、職場の上司の子ども、実家の近所の人、子どもの同級生の親、教え子でした。

身近な人の自殺を経験した人に、亡くなってからの期間と親密度を質問しました。回答していただいた人の多くは、10年以上経過していました。また、親密度については、家族が最も高く、友人・知人、親戚の順に高いという結果でした。これまでの人生で自殺念慮を抱いた経験がある人ほど身近な人を自殺で亡くされた経験がある割合が高いことも報告されているため、親密度と亡くなった期間のいずれか、もしくは両方が関係しているかを確認しました。亡くなった期間のみ関連があり、亡くなってからの年数が短い人ほど、これまでの人生で自殺念慮を抱いた経験がありました。そのため、自死遺族支援の対象は家族のみならず、喪失体験をした人全てに行う必要があります。地域として自殺対策を進める必要があります。

④ あなたは「自殺」についてどのように思いますか？

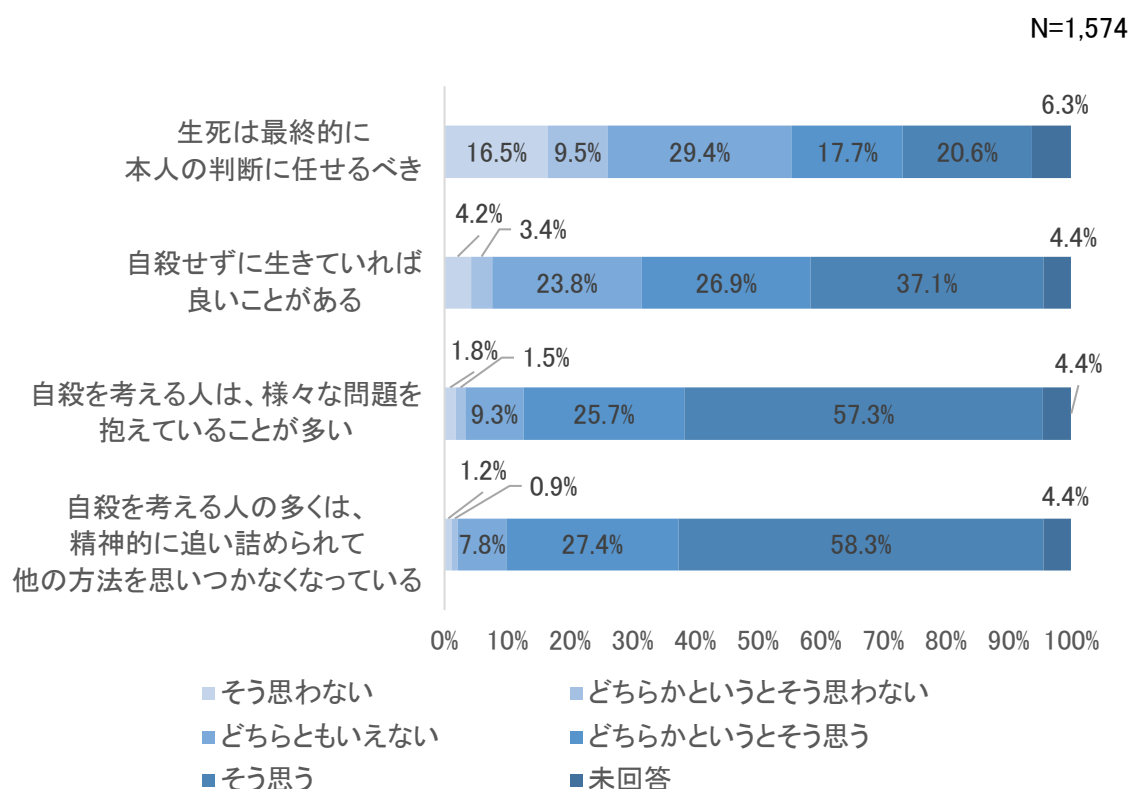


図 29 自殺に対する価値観

表 18 年代別に見た「生死は最終的に本人の判断に任せるべき」の分布

年齢	生死は最終的に本人の判断に任せるべき					未回答
	そう 思わない	どちらかと いうとそう 思わない	どちらとも いえない	どちらかとい うと そう思う	そう思う	
39 歳以下 (n=148)	8 (5.4)	12 (8.1)	46 (31.1)	34 (23.0)	45 (30.4)	3 (2.0)
40—59 歳 (n=429)	68 (15.9)	28 (6.5)	146 (34.0)	91 (21.2)	87 (20.3)	9 (2.1)
60 歳以上 (n=960)	180 (18.8)	107 (11.1)	263 (27.4)	145 (15.1)	182 (19.0)	83 (8.6)

表 19 年代別に見た「自殺せずに生きていれば良いことがある」の分布

年齢	自殺せずに生きていれば良いことがある					未回答
	そう 思わない	どちらかと いうとそう 思わない	どちらとも いえない	どちらかと いうと そう思う	そう思う	
39 歳以下 (n=148)	9 (6.1)	17 (11.4)	44 (29.7)	38 (25.7)	38 (25.7)	2 (1.4)
40—59 歳 (n=429)	35 (8.2)	14 (3.2)	124 (28.9)	119 (27.7)	129 (30.1)	8 (1.9)
60 歳以上 (n=960)	22 (2.2)	21 (2.2)	197 (20.5)	261 (27.2)	399 (41.6)	60 (6.3)

表 20 年代別に見た「自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多い」の分布

年齢	自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多い					未回答
	そう 思わない	どちらかと いうとそう 思わない	どちらとも いえない	どちらかと いうと そう思う	そう思う	
39 歳以下 (n=148)	2 (1.4)	2 (1.4)	13 (8.8)	32 (21.6)	96 (64.8)	3 (2.0)
40—59 歳 (n=429)	7 (1.6)	3 (0.7)	40 (9.3)	101 (23.5)	269 (62.8)	9 (2.1)
60 歳以上 (n=960)	17 (1.8)	17 (1.8)	89 (9.3)	263 (27.4)	517 (53.9)	57 (5.8)

表 21 年代別に見た「自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている」の分布

年齢	自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている					
	そう 思わない	どちらかと いうとそう 思わない	どちらとも いえない	どちらかと いうと そう思う	そう思う	未回答
39 歳以下 (n=148)	3 (2.0)	2 (1.4)	12 (8.1)	41 (27.7)	87 (58.8)	3 (2.0)
40—59 歳 (n=429)	6 (1.4)	4 (0.9)	39 (9.1)	102 (23.8)	269 (62.7)	9 (2.1)
60 歳以上 (n=960)	10 (1.0)	8 (0.8)	68 (7.1)	277 (28.9)	540 (56.3)	57 (5.9)

※人数(%)を表している。年齢が無回答だった方は除いて集計したため、人数の合計値が異なります。